

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-01-01-02
事務事業名	農業用施設整備事業		根拠法令・要綱等 土地改良法
事業開始年度	昭和46年度～		
総合計画	大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問合せ先
中項目 基本施策	豊かな食を支えるまちづくり		担当課(室) 農林水産課
小項目 施策	農業		職・氏名 耕地治山係長 小川 勝巳
			電話 0869-64-1830

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	農業経営者・農業従事者及び被災対象区域住民
目的(何のために)	農業基盤の強化、農業経営及び食糧供給の安定化、被災対象区域住民の安全を守るために
行政活動(どのような方法で)	施設使用者(受益者)の要望を受け、現地立会いを行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	農業経営者・農業従事者の作業軽減・効率を図り、被災対象住民が安心して暮らせるように

事業の実績						
活動実績	実施項目					
	ため池整備事業	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	ため池整備	ha	5.9	22.2	6.6	
	農道整備	m	100.0	207.0	100	
	農道舗装	ha	23.4	0.0	2.1	
	かんがい排水	ha	102.1	4.6	2.6	
	土地改良施設適正化事業	ha	37.9	37.9	1.7	
	事業費	直接事業費		204,777	180,366	141,269
		人件費	千円	12,300	8,549	11,031
		事業費計		217,077	188,915	152,300
財源						
財源	国県支出金	千円	80,141	18,764	12,128	
	受益者負担		46,997	37,992	4,042	
	市一般財源		44,000	8,000	0	
必要人員		人	1.73	1.35	1.71	
結果指標	結果指標名					
	ため池整備事業	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	結果指標量	ha	5.9	22.2	6.6	
	対前年比	%	-	376.3%	29.7%	
	活動コスト	円	45,920,000	24,717,000	7,300,000	
	単位当たりコスト	円	7,783,051	1,113,378	1,106,061	
	結果指標	農道整備				
		結果指標量	m	100	207	100
		対前年比	%	-	207.0%	48.3%
		活動コスト	円	9,900,000	22,884,000	10,357,000
単位当たりコスト		円	99,000	110,551	103,570	

事業の成果			
成果指標名	ため池整備率	式又は説明	整備済みため池(部分改修を含む)÷ため池全数 128÷350
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	35.10	35.70	36.00
対前年比	101.71%		100.84%
	到達目標値	40%	到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的・意図する成果を見直す必要はない。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	本事業は、事業費の一部を受益者(耕作者)が負担して行なう事業であるが、経年により農地の宅地化、荒廃農地の拡大により、受益者の一人当たりの負担額は増加傾向にある。今後は、農業用施設ではあるが、公共性のある施設として、受益者の範囲を検討する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	土地改良施設適正化事業は、現況施設のオーバーホール(ポンプ、モーター等の整備補修工事)を行う事業であり、事業に加入し向こう5年間に必要な経費の一部を均等に積み立て、事業費の約60%の補助金を受ける計画的な維持管理補助事業である。
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない		
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	課題認識	土地改良施設適正化事業は、現況施設のオーバーホール(ポンプ、モーター等の整備補修工事)を行う事業であり、事業に加入し向こう5年間に必要な経費の一部を均等に積み立て、事業費の約60%の補助金を受ける計画的な維持管理補助事業である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	課題認識	土地改良施設適正化事業は、現況施設のオーバーホール(ポンプ、モーター等の整備補修工事)を行う事業であり、事業に加入し向こう5年間に必要な経費の一部を均等に積み立て、事業費の約60%の補助金を受ける計画的な維持管理補助事業である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識	土地改良施設適正化事業は、現況施設のオーバーホール(ポンプ、モーター等の整備補修工事)を行う事業であり、事業に加入し向こう5年間に必要な経費の一部を均等に積み立て、事業費の約60%の補助金を受ける計画的な維持管理補助事業である。
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	土地改良施設適正化事業は、現況施設のオーバーホール(ポンプ、モーター等の整備補修工事)を行う事業であり、事業に加入し向こう5年間に必要な経費の一部を均等に積み立て、事業費の約60%の補助金を受ける計画的な維持管理補助事業である。
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
職場	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識	土地改良施設適正化事業は、現況施設のオーバーホール(ポンプ、モーター等の整備補修工事)を行う事業であり、事業に加入し向こう5年間に必要な経費の一部を均等に積み立て、事業費の約60%の補助金を受ける計画的な維持管理補助事業である。
	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	土地改良施設適正化事業は、現況施設のオーバーホール(ポンプ、モーター等の整備補修工事)を行う事業であり、事業に加入し向こう5年間に必要な経費の一部を均等に積み立て、事業費の約60%の補助金を受ける計画的な維持管理補助事業である。
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	課題認識	ため池整備は、防災面も含めて、検討すべき事業であるため順次整備していかなければならない。
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	課題認識	ため池整備は、防災面も含めて、検討すべき事業であるため順次整備していかなければならない。
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	ため池整備事業、農道整備は1箇所、かんがい排水は2箇所、施工予定である。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	説明	ため池整備事業、農道整備は1箇所、かんがい排水は2箇所、施工予定である。
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 6.6	結果指標量	100
成果指標量	37%		

総合評価		評価区分<A-E>	B
事業費は増加、受益者は減少傾向にあるが、荒廃農地が増加するのを防ぎ、農作業の効率が良い施設を改良するためにも必要な事業である。			

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	説明	平成20年度で廃止・完了
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	受益者の検討	毎年	1人当たりの負担金の減額
効率性	工法検討	毎年	早期完了
有効性	地元関係者の維持管理、日常点検の実施	毎年	災害防止